

『ガス電くん』納入実績300件超 LPガス非常用発電装置を設計製造

株式会社昭栄 (埼玉県行田市)

今回は埼玉県行田市の「株式会社昭栄」取材しました。川崎道賢（かわさき・みちかた）代表取締役社長。☎048-554-8555。〒361-0037 埼玉県行田市下忍223-14。LPガス発電装置システム事業に特化した昭栄では、老人保健施設、病院施設、通信会社のデータセンター、個人住宅向けにBCP(事業継続計画)対策用・災害対策用・節電対策用として300件を超えるLPガス非常用発電装置の納入実績があります。

活動拠点として「ガス電くん事業本部」(☎048-501-2175、埼玉県行田市藤原町3-2-4)と「行田長野工場」(☎048-558-1020、埼玉県行田市長野5-9-3)を開設しています。LPガス・都市ガス仕様の非常用発電装置『ガス電くん』の設計・製造・販売・保守管理に取り組む「昭栄」について紹介します。

◆創業の経緯

川崎社長は昭和59(1984)年12月、埼玉県行田市で「株式会社昭栄」を設立しました。以来、(1)人材派遣事業(2)業務受託の請負事業(3)環境リサイクル事業に邁進してきました。現在、従業員数は約30名。資本金は3千万円。

▼人材派遣事業としては、富士重工業の産業機械用小型エンジン工場や、本田技研工業の自動車部品工



製作中の「ガス電くん」(SGS-4000DB)



みちかた 川崎道賢・代表取締役社長

まさのり 北澤政範・専務取締役

場に技術者を派遣するなど手広く営んでいます。

▼請負事業としては、工場で働く日系ブラジル人などの日本語学習や就労補助を目的とした業務を受託しています。

▼環境リサイクル事業としては、工場より発生する資源の回収、また、産業廃棄物の収集運搬を行ってきました。

平成19(2007)年頃、富士重工業から昭栄に対し、小型汎用エンジンの『ロビンエンジン』を譲渡したという話が直接舞い込みました。昭栄は富士重工業からの提案を快諾し、ロビンエンジンの供給を締結しました。それが『ガス電くんシステム』事業の始まりでした。

「LPガス発電装置」の設計・商品化に着手し、業務が拡大したことを受け、平成20(2008)年2月、埼玉県行田市長野5-9-3の長野工場団地に生産拠点として「行田長野工場」を建設しました。

なお、メーカー事業への進出機会を得た昭栄は、メーカー事業以外の、人材派遣事業及び請負事業については「株式会社エヌファースト」に、環境リサイクル事業については「コスモ・クリーン株式会社」にと、グループ会社に事業を移管しています。

◆取扱製品の変遷

昭栄は平成21(2009)年5月、『ガス電くん』の初号



SGS-4000DB (単相5kVA)

機となる、「ロビンエンジン」を搭載したLPガス非常用発電装置「SGS-8000F」の商品化に成功しました。出力は50Hz時8kVA、60Hz時9kVA。停電時・災害時には自動起動して独立電力として電力供給を行えます。

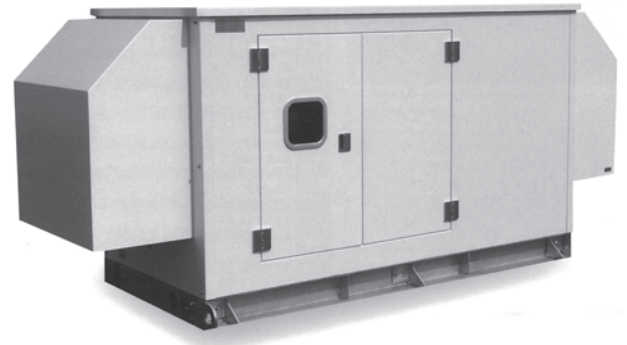
平成23(2011)年1月には、LPガス発電装置と電力監視コントロールユニット(EMS)、蓄電池を搭載した無停電電源装置(UPS)で構成される電力供給システムの『ガス電くんシステム』の商品化にも成功し、埼玉県主催の「彩の国ビジネスアリーナ2011」に初出展しました。停電時・災害時には独立電源として電力供給を行えます。一方、平常時には待機電力を100%遮断したり、ピークカットにより節電を行えるシステムです。

昭栄の説明によると、東日本大震災を経験したことで、日本国民の防災・減災に対する意識は一段と高まったといえます。また、電力・都市ガス・LPガスの複数のエネルギー供給インフラの間で、被災から復旧までに要する時間はLPガスが最も最短だったため、その優位性が明らかになったといえます。昭栄では、非常用のLPガス発電装置への潜在的な需要は多いと推測しています。

昭栄の説明によると、都市ガス燃料に比較して、LPガス燃料は販売価格が割高ですが、平常時には全国どこでも調達可能であること、災害時にも確保しやすいこと、熱量が高いため効率が良いこと、燃料の搬送や取り扱いも容易であることなど、LPガス非常用発電装置の導入メリットを指摘しています。

◆ガス電くんシステム事業

昭栄は平成24(2012)年6月、『ガス電くんシステム』の中型機種を商品化し、「SGS-25K(60Hz時25kVA)」と「SGS-45K(60Hz時45kVA)」の2機



SGS-75K (三相75kVA)

種を新発売しました。非常用でありながら常用にも転用可能な程、優れた連続運転性能を備えています。昭栄の説明によると、大規模な病院や生産工場でも使用可能であるといえます。

続いて同年12月、商用電源、自家発電設備、太陽光発電などをリモコンブレーカーを使用して制御する電力供給システムで特許を取得しました。

平成26(2014)年9月には、『ガス電くんシステム』の小型機種を商品化し、「SGS-4000DB(60Hz時5kVA)」の1機種を新発売しました。平成27(2015)年1月には、ガス電くんの開発コンセプト『ロボット発電』を商標登録しました。平成28(2016)年3月には、新たな活動拠点として埼玉県行田市藤原町3-2-4に『ガス電くん事業本部』を移転拡張しました。同年7月には、LPガス発電機「SGS-60K(60Hz時60kVA)」と「SGS-75K(60Hz時75kVA)」を新発売し、現在に至っています。

◆販売注力する製品

低騒音化とメンテナンス簡便化、省スペース化を実現した昭栄ブランドの『ガス電くんシリーズ』の主要機種としては出力別に4タイプ・6機種があります。昭栄では、人と地球環境に優しいクリーンなガス燃料仕様の非常用発電装置の普及を通じて、お客様の生命と財産を守るために尽力していきます。そして、お客様のニーズに答えるべく、商品開発にもさらに力を入れてまいります。

▼「SGS-4000DB」「SGS-4000DG」は50Hz時4kVA、60Hz時5kVA。

▼「SGS-8000F/F3」「SGS-8100F/F3」は50Hz時8kVA、60Hz時9kVA。

▼「SGS-60K」は50Hz時48kVA、60kVA時60kVA。

▼「SGS-75K」は50Hz時60kVA、60Hz時75kVA。

問い合わせは、株式会社昭栄・ガス電くん事業本部(☎048-501-2175)北澤政範氏。